

新役職に「鍋部長」設置

勤続 20 年以上のベテランが、社内コミュニケーションを円滑に

博多の郷土料理である水炊きをメインにした飲食店舗「水たき料亭博多華味鳥」を展開している、トリゼンフーズ株式会社(本社：福岡市博多区／代表取締役社長：河津 英弘)は、4 月 17 日(日)より社内コミュニケーションを円滑にする役職として、「鍋部長」を設置いたしました。

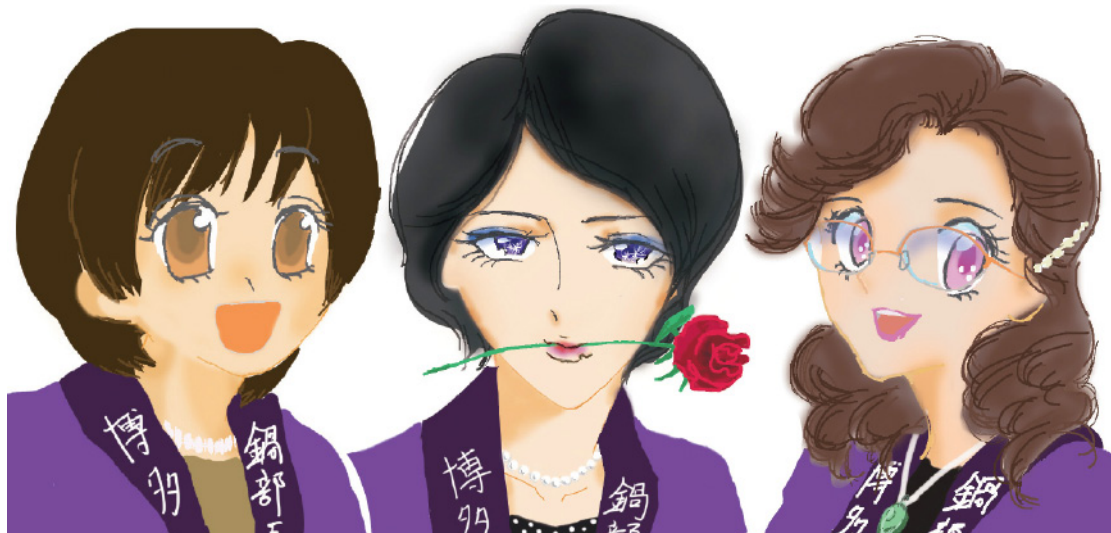
水たきをはじめとする鍋は、鍋の中に様々な具材を入れて調理し、その鍋をみんなで囲んで食べます。昔から「同じ釜の飯を食う」のような言葉がある通り、食を共有するということは互いの絆を深められるコミュニケーション作りのきっかけにもなっています。

人と人との結びつきが希薄な現代において、まずは社内からコミュニケーションを図っていこうという趣旨のもと発足した鍋部長。主な業務は、異なる具材(人)同士を、上手に調理する(まとめる)こと、そして、コミュニケーションツールである鍋(水たき)を広くアピールするお手伝いをしていきます。



鍋部長の今後の活動予定

- ①社内コミュニケーションを円滑にするお手伝い 大きな愛情で従業員同士の間をとりもっていただきます。
- ②華味鳥の水たきを広く告知するお手伝い 華味鳥の水たきを広くアピールするお手伝いをさせていただきます。
- ③社内キャンペーン活動の際の旗振り役に 社内の士気を高める際に旗振り役をお願いします。



←鍋部長 3 名をイメージしたキャラクターです

(左) 河口鍋部長
(中) 瀬戸鍋部長
(右) 小島鍋部長

鍋部長プロフィール

今回、鍋部長に選ばれた3名は、いずれも勤続20年以上のベテランということもあり、社内での存在感は抜群。

瀬戸鍋部長は女性らしい優雅な仕草でマダムの佇まい。小島鍋部長はみんなのお母さんの存在で、世話焼きの一面も。河口鍋部長はおっとりとした癒し系で、包容力抜群。三者三様の鍋部長ぶりを、思う存分発揮していただく予定です。



▲左から、瀬戸さん、小島さん、河口さん

鍋部長をサポートする特別顧問

普段は縁の下の力持ち的存在の鍋部長たちは、じつはとても恥ずかしがりやな一面も。

そんな鍋部長達を強力バックアップするために、弊社の河津会長、河津社長、手塚常務が、それぞれ鍋部長をサポートすることにいたしました。



▲瀬戸鍋部長には河津会長が、小島鍋部長には河津社長が、河口鍋部長には手塚常務が、鍋部長をサポートします。

本件に関する
お問い合わせ先

トリゼンフーズ株式会社

〒812-0044 福岡市博多区千代 1-8-13
電話：092-641-6301 / FAX：092-641-1278

担当／野上 訓子（企画戦略本部）
k.nogami@torizenfoods.jp